

甲佐町球技大会・甲佐町駅伝競走大会・地区対抗体力づくり駅伝大会を開催 甲佐を舞台に繰り広げられた熱戦



▲一斉にスタートを切る第49回町駅伝競走大会の中学男子の部、高校一般男子の部、高校一般男女混合の部の1区走者たち

●令和元年度甲佐町球技大会を開催

10月20日(日) 令和元年度甲佐町球技大会が、町内各会場で開催されました。

甲佐町体育協会(奥名克美会長)が主催し、町、町教育委員会が共催。ソフトボール、バレーボール、ビーチボールバレー、グラウンド・ゴルフ、アジャタ、ゴルフ(期日前開催)の6競技に359人が参加し、甲佐地区が総合優勝。表彰式では、同協会のスポーツ功労者として芦原博幸さん(糸田区、バ



▲町生涯学習センターで行われたアジャタ競技

レーボール)と甲斐良二さん(岩下二区、水泳)、優秀者として森口トニ子さん(岩下二区、水泳)と志村優奈さん(八丁区、剣道)が表彰を受けました。

●町駅伝競走大会・地区対抗駅伝競走大会を開催

11月17日(日) 豊内で、第49

回町駅伝競走大会と第45回地区対抗体力づくり駅伝競走大会が開催されました。

同大会は、駅伝競走の普及と幅広い年代を対象とした健康づくりを目的に、甲佐町体育協会、町教育委員会、甲佐町陸上競技協会が主催。

町駅伝競走大会には、町生涯学習センターを発着とする5区間7・2キロのコースに5部門15チームが出場。地区対抗体力づくり駅伝競走大会では11チームが、世代別となる6区間4・8キロのコースをたすきでつなぎました。

■令和元年度甲佐町球技大会結果

【総合成績】

- ・優勝 甲佐地区
- ・2位 乙女地区
- ・3位 竜野地区

【種目別優勝チーム】

- | | |
|--------------------|----|
| ・グラウンド・ゴルフ (男子) | 甲佐 |
| ・グラウンド・ゴルフ (女子) | 甲佐 |
| ・バレーボール | 甲佐 |
| ・アジャタ | 乙女 |
| ・ソフトボール | 竜野 |
| ・ビーチボールバレー (フリー) | 竜野 |
| ・ビーチボールバレー (45歳以上) | 甲佐 |
| ・ゴルフ | 乙女 |

■第49回町駅伝競走大会結果

【部門別優勝チーム】

- | | |
|-------------|--------|
| ・小学男子の部 | |
| 白旗少年野球クラブ A | 28分58秒 |
| ・小学女子の部 | |
| 龍野ドラゴンズ | 33分16秒 |
| ・中学男子の部 | |
| 甲佐中 A | 26分31秒 |
| ・高校一般男子の部 | |
| 甲佐高校連合チーム | 26分51秒 |
| ・高校一般男女混合の部 | |
| 甲佐高校職員チーム | 37分31秒 |

■第45回地区対抗体力づくり駅伝競走大会結果

- | | |
|--------------|--------|
| ・優勝 甲佐 D チーム | 17分34秒 |
| ・2位 龍野 A チーム | 17分47秒 |
| ・3位 白旗 A チーム | 19分24秒 |

教訓を活かして災害に備えるために

11月23日（土）町内各地で、町総合防災訓練が行われました。

同訓練は、熊本地震を教訓として、大雨や台風、地震などの自然災害に迅速に対応

できるように日ごろから備えるため、町が主催。町消防団や各自主防災組織など約2,000人が参加し、町内各地でさまざまな訓練に取り組みました。



1_西寒野区で行われた初期消火訓練 2_町消防団は幹部研修として災害図上訓練を実施 3、4_下豊内区では、災害公営住宅や子育て支援住宅の入居者も参加して防災マップ作成や炊き出し訓練を実施 5_町役場職員研修では、職員同士が災害時の対応について意見を交換

■甲佐町総合防災訓練

11月23日（土）町内各地で甲佐町総合防災訓練が開催されました。

同訓練は、熊本地震を教訓として、大雨や台風、地震などの災害に迅速に対応できるように備えるため、町が主催。町消防団や自主防災組織など約2,000人が参加し、訓練に取り組みました。

■町内各地で訓練を実施

町の訓練は、午前8時の訓練放送を皮切りに、各行政区での避難訓練でスタート。その後、防災マップ作成や炊き出し訓練などさまざまな訓練

を行政区や自主防災組織、消防団が連携して行いました。

町消防団は、町総合保健福祉センターで災害図上訓練を実施。防災士の松尾憲親さん（緑町区）を講師に迎え、地域の危険について考えました。甲佐町商工会女性部や上益城農業協同組合女性部、町の保健師などは町農業研修センター「ろくじ館」で、災害時の炊き出しについて研修。講師を務めた御船保健所の津川禎子さんから災害時の衛生・栄養管理について学びました。町生涯学習センターでは、町役場職員研修が実施され、災害時の対応について考えました。

「公助」の限界と「自助」「共助」の重要性

くらし安全推進室
佐々木 善平 室長



昨今の大規模災害では、住民を支援すべき行政自体が被災し、公的な支援（公助）が滞ってしまう場合があります。そのようなとき、特に重要なのは地域コミュニティの防災力（自助・共助）です。町では、防災士の育成や自主防災組織の活動の支援を行っています。

いざというとき、住民同士の支え合いは大きな力になります。防災訓練などを通して地域の防災力を高めましょう。

●お問い合わせ先

町くらし安全推進室 ☎096-234-1167